

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者：菅

会議名： 平成 29 年度 第4回守山学区まるごと活性化プランCプロジェクト会議

日時：平成 29 年 11 月 28 日(火)午後7時 30 分から

場所：守山会館2階 図書室

出席者：相宮代表、園田副代表、舟橋、千代、竹村、伴野、磯、竹中

出席者(行政)：守山会館 田中館長、菅主事

使用資料：平成 29 年 10 月 16 日読売新聞記事(空き地集約条件緩和について)、県道片岡栗東線について、安心・安全アプリ通報システムについて、大門野尻線立体交差事業の冊子

議題

1. 最近の行政関係等の動きについて
2. その他

会議要旨

内容

1. 最近の行政関係等の動きについて(JR東側に関係する事業等)

(1) 市議会最大会派の新政会(代表：筈井昌彦議員)予算要望について(抜粋)

市議会最大会派の新政会が当プロジェクトの議題に関わることについて2点質問された。

→防災対策をはじめ危機管理対応の充実

(1)市民の防災意識の向上と避難所情報の周知に努められたい。

(2)人口が増加している守山学区のJR東側地域の防災拠点としての避難所(施設)の検討を進められたい。

というもの。回答があり次第、事務局より会議で報告する。

(2) 国の区画整理促進施策について

国土交通省が空き地や空き家を土地区画整理事業で集約して有効活用する制度を、2018年度に導入する予定。空き地や家を他の土地と入れ替える場合、現行法では原則、角地であることや道路に面していることなどの条件がほぼ同じである時に限って交換を認めているが、この制度は「虫食い状態」に存在する空き地を異なる条件の土地と交換できるので、地方都市でまとまった土地を確保しやすくすることで、再開発を促すことを目的とする。

(裏面に続く)

決定事項

次回 平成 30 年2月8日(木)午後7時 30 分から

次回以降について

最近の行政関係等の動きについて
今後の進め方について

会議要旨

内容

(3) 県道片岡栗東線について

【事業概要】

目的…栗東インターチェンジへのアクセス、交通渋滞の緩和、交通安全対策

計画…長さ 2,500m、幅 22~24m、4車線両側歩道

第1工区 宅屋・千代工区、第2工区 千代・勝部工区

用地交渉…第1工区は用地取得予定面積の 87%を取得済み

第2工区は9筆の用地を取得済み

事業年度…平成 26 年度～31 年度

今後の計画…用地交渉継続

(4) 大門野尻線立体交差事業について

平成 29 年度 埋蔵文化財調査、JRに詳細設計委託

平成 30 年度 守山市で進入路整備、JR工事発注に向けた工事積算業務

平成 31～35 年度 JRがアンダー工事施工

平成 35～36 年度 守山市がアンダーの前後取付け部施工

勝部吉身線から大門野尻線へと供用開始予定

【意見】

- ・JRの工事は用地確保が全て済んでからでないとして着手しないので、時間がかかるかもしれない。
- ・中山道の交通量を減らす効果も期待できる。

2. その他(話題提供)

(1)安心・安全アプリ通報システムについて

市内の危険な場所等をスマートフォンで撮影しアプリに送信することで、行政が必要に応じて修繕等を行うもの。

【意見】

- ・仮に導入する場合、誰でも使用できるようでは要望が多すぎたり、いたずらの投稿があったりして行政の混乱を招くことが懸念される。
- ・使用権限を自治会に限定する等なら使いやすいかもかもしれない。
- ・自治会要望書の、紙ベースでの提出を省略できるようになるならありがたい。
- ・自治会要望書を提出しても長い間待つことになり、いつ対応してもらえるのか分からない。
- ・直してほしいところをリアルタイムで伝えられるのは大変画期的でよい。